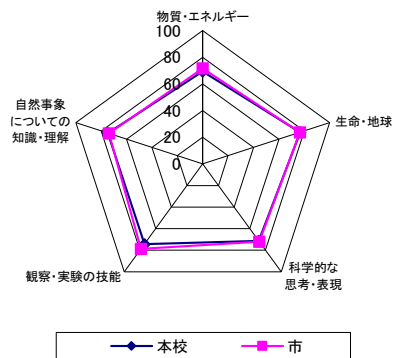


宇都宮市立城山東小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	69.3	71.6	67.4
	生命・地球	76.8	76.6	75.5
観点別	科学的な思考・表現	71.4	72.1	68.8
	観察・実験の技能	74.3	78.7	76.3
	自然現象についての知識・理解	74.8	73.9	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○振り子が1往復する時間は振り子の長さによってのみ変わる。という問いについては市の正答率を上回った。 ●実験操作の誤りを説明する問いでは正答率が市の平均を下回った。 ○電流の強さと電磁石のはたらきについて調べるための適切な実験を選ぶ問題では市の平均を上回った。 ○木を缶の中で効率よく燃やすための方法や二酸化炭素が石灰水を白濁させることについての正答率は市の平均を上回った。 ●酸素の捕集方法について指摘する問いでは市の平均を大きく下回った。 ○物の溶け方の学習では全ての問題について市の正答率を上回った。 ●水溶液を熱した後に個体が残ったことから、水溶液を推測する問題では、正答率が50%を下	・実験の方法について、理解している児童が多いが操作の仕方についての間違いを指摘する際に、どのような言葉をつないで指摘するべきなのか、表現力の向上についても視野に入れて復習する。 ・気体の捕集法については種類ごとに異なるので復習して覚えるように指導する。 ・水溶液を熱して個体が出てくる場合、どのようなことが考えられるのか、実験映像や写真教材などで視覚的に復習し、知識の定着を図れるようにする。
生命・地球	○●人の誕生にかかわる問題では人間の受精卵や申請時の大きさなどを正しく覚えている児童が多く、市の正答率を上回った。しかし、母親の胎盤の役割については正答率が市を下回った。 ○●動物の体のつくりとはたらきについて「唾液の働きを調べる実験」の条件を正しく修正する問題や心臓と腎臓の働きを答える問題では市の正答率を上回った。しかし、実験結果から唾液と体温とでんぶんの分解の様子を関連付ける問題では正答率が市の平均を下回った。 ○●植物のつくりとはたらきの問題では植物が取り入れた水のゆくえを確かめる実験について問う問題では市の正答率を上回った。しかし、植物内をどのように水が通るのかについては理解が不十分で市の正答率を下回っている。	・胎盤の働き及びへその緒の役割など、母親から栄養を摂取する体内の構造を胎児の成長と関連付けて復習する。 ・でんぶんは体温に近い温度で唾液と混じり合うことで分解されるが、その具体的な様子についてヨウ素でんぶん反応と関係づけながら視覚的に復習する。 ・維管束の役割と実際の見え方について復習し、植物の中のどこをどのように水分が通過するのかについて知識の定着を図る。